

西国巡礼慈悲の道

西国第八番 豊山

長谷寺

日本人の心のふる里に立つ観音さま

真言宗豊山派管長／化主

加藤精一



長谷寺に伝わる銅板法華
説相図（国宝）の下端に三

一九文字（漢文）の銘文が

打ち出されてあり、文章の

拡張も高いし、字もまた

しっかりした立派な文字で

長谷寺の草創について述べ

てある。前半の部分はこの

山が古くから豊山と呼ばれ

ていたことを示し、最後

に、（川原寺の高僧）道明

が戊歳の七月上旬に、八十

人ほどの援助を得て飛鳥浄

御原の天皇のためにこの銅

板を造り奉る、と結んでい
る。これから推考すると、

この銅板がはじめて豊山の

上に祀られたのは西暦六八

六年、天武天皇の御代のこ

とである。では一体だれが

このたくみな漢文をつくつ

たのか、だれが何のために

願主になったのかなど考え

ると、古代へのロマンがか

きたてられる。その後、堂

塔が整備され、開山の徳道

上人は、奈良時代、聖武

天皇の勅を奉じて像高十

メートルを超える観音像を
造立した。七三三年（天平

五）行基が開眼したと伝え

られる。その後何回かの火

災にあつたがそのつど頭部

の顔の何面かが残り、そ

れらをまた新しいお像の胎

内に納めてきているので、

ご利益は創建当時と少しも

異ならない。現存のお像は

室町時代のもので、すでに

五〇〇年がたっている。

なお、徳道上人は西国三

十三番の霊場を組織した

功労者と仰がれている。

草創が六八六年とすれ

ば、奈良の大きいお寺とほ

ぼ同時代で、初代のお観音

さまができたのも奈良の大

仏さまと同時代である。長

谷寺は日本の最古のお寺の

一つなのである。

それ以前から豊山は、

飛鳥平野の最も重要な聖地
とされていて、日本の祖神
である天照大神は、現在
の伊勢神宮に移る前は、長
谷の山上に祀られていたの
である。

天照がまつられた場所
に巨大な観音さまがまつら
れ、さらにこのお寺が一五
八八年専誉僧正の入山で
真言宗の寺院となり、弘法
大師の思想体系が加わり、
さらに三千数百という真言
寺院と数百万の檀信徒の祖
山になったのである。

長谷寺は観音信仰のメッ
カであり、同時に大師信仰
のマンダラの寺であり、四
季に咲き乱れる桜、ぼた
ん、あじさい、もみじなど
にいろどられる花の寺なの
である。

西国第八番

は せ で ら
豊山 長谷寺

真言宗豊山派総本山

御本尊／十一面観世音菩薩 開基／徳道上人

いくたびも まいるところは はつせでら
やまもちかいも ふかきたにがわ



✳ 主な年中行事 ✳

- 1月1日 本尊開帳法要「万燈会」
 1月1日～7日 仁王会・修正会
 1月28日より 星祭り
 2月3日 節分会
 2月8日～14日 修二会
 2月14日 だだおし法要
 3月彼岸 春季彼岸会
 4月下旬～5月上旬 ほたん祭り
 6月中旬～7月 あじさい祭り
 9月彼岸 秋季彼岸会
 10月上旬～11月下旬 もみじ祭り

❁ 観音風光 ❁

◆ 浄財勧募のお願い

長谷寺では、文化財保全の為に、観音経
偈三十三万巻写経の勧進を行っています。

- 納経料 観音経偈文一卷 一千円也
- お手本付き用紙一式(三枚一組) 一千円也
- 清書用紙一式(十枚一組) 一千円也

「写経」の浄行をもって、文化財の保全に
ご協賛を賜りたく、心からお願い申し上
げます。

ご詠歌の意味

何度お参りしても初めて訪れたような気がする初瀬寺（長谷寺の古称）。観音様の
衆生済度のお誓いは、周囲を取り巻く山や谷川のようにとても深いものです。

※衆生済度…迷いの苦しみから人々を救い、悟りの世界へ渡し導くこと。

〒633-0112 奈良県桜井市初瀬731-1 <http://www.hasedera.or.jp/>

TEL 0744-47-7001(事務所)・0744-47-7008(本堂)／FAX 0744-47-7711

納経時間 4月1日～9月30日／午前8時30分～午後5時

10月1日～3月31日／午前9時～午後4時30分

西国三十三所札所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。